

2月3日(金曜日)
ドル/円

米雇用統計が方向感の鍵に

2日(木)の主な推移

NYダウ平均

12705.41ドル
(-11.05ドル)

米2年債利回り

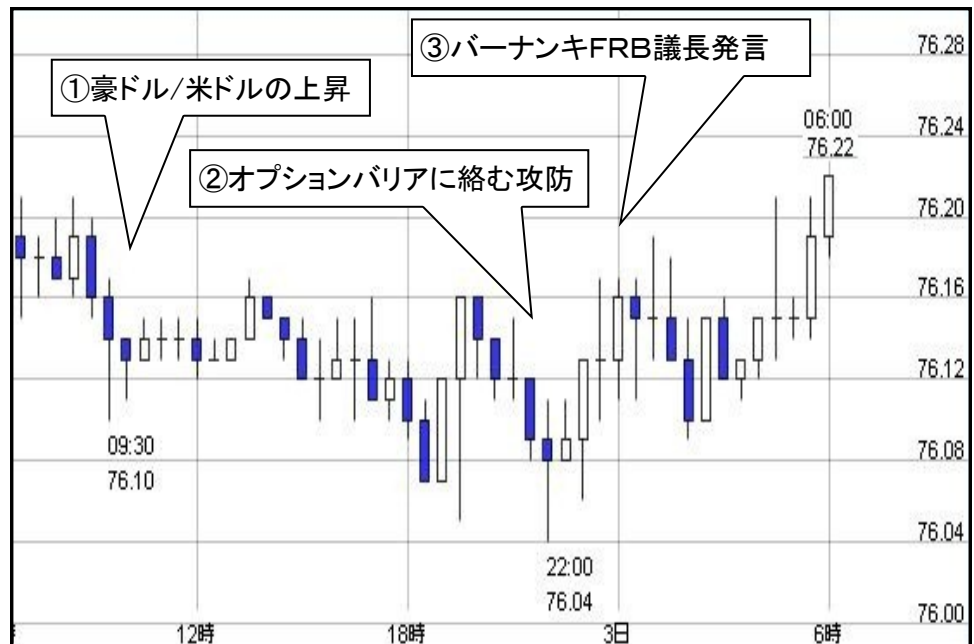
0.2264%
(±0.0000%)

米10年債利回り

1.8247%
(-0.0018%)

NY原油先物

96.36ドル
(-1.25ドル)



期間:2日(木)午前7時 ~ 3日(金)午前6時30分
※チャートは30分足 日本時間にて表示 ※左表は終値ベース、()は前日比
出所:外為どっとコム

- ① 豪12月貿易収支の予想を上回る黒字を受け、豪ドル/米ドルで豪ドル高・米ドル安が進むと、ドル/円でもドル売りがやや強まり、76.10円まで値を下げた。
- ② 76.00円のオプションバリアを巡る攻防が続く中、76.04円の安値をつけたものの、押し戻された。なお、22時30分に発表された米新規失業保険申請件数は36.7万件と、市場予想(37.1万件)よりも良好な結果となったが、反応は限られた。
- ③ 米連邦準備制度理事会(FRB)のバーナンキ議長が議会証言にて「インフレは抑制されたままであると予想」「現在、インフレは目標に極めて近づいているように見えるが、失業率には失望させられている」とハト派寄りの発言をしたが、ドル/円相場の反応は限られた。

上昇要因(ドル高・円安)

- ・米国経済の回復
- ・米長期金利の上昇
- ・米国の超低金利政策の長期化観測の後退
- ・金融市場全体のドル売りムードの緩和
- ・日本の財政赤字への懸念
- ・本邦通貨当局の円売り介入

下落要因(ドル安・円高)

- ・米国の超低金利政策の長期化観測
- ・米長期金利の低下
- ・米国経済の回復の鈍化
- ・米財政赤字悪化懸念の高まり
- ・米国の追加金融緩和観測の強まり

本日の見通し

本日の予想レンジ: 75.60 – 77.00円

昨日のドル/円相場は引き続き76.00円付近のオプションバリアを睨みつつの底這いとなった。76.00円の下抜けか、それとも反発するのか、鍵は本日発表される米1月雇用統計になってきそう。市場では、失業率は8.5%(前回:8.5%)、非農業部門雇用者数が14.0万人増と予想されている。この事前予想値を軸に、ドル/円はこれよりも良好な結果ならばドル高・円安、弱い結果ならドル安・円高に振れるものと考えられる。後者だった場合、76.00円を下抜ける可能性もあるため、注意が必要だ。

また、引き続きギリシャの債務交換協議に絡む報道を受けたユーロの動きが波乱要因となってくる可能性があるため、ユーロ相場の動きにも注意を払っておきたい。(ジェルベズ)

本日の注目イベント

※注目度が高い順に「◎」「○」「無印」で表示 時間は「日本時間」

日付	時間	注目度	経済指標、イベント等	前回発表	市場予想
2/3(金)	22:30	◎	(米) 1月失業率	8.5%	8.5%
	22:30	◎	(米) 1月非農業部門雇用者数	+20.0万人	+14.0万人
	24:00	◎	(米) 1月ISM非製造業景況指数	53.0	53.2
	24:00		(米) 12月製造表受注指数	+1.8%	+1.5%

※発表時刻は予告なく変更される場合があります。※予定一覧は信頼性の高いと思われる情報を元にまとめておりますが、内容の正確性を保証するものではありませんので事前にご留意くださいますようお願いいたします。

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご承願いたします。

Copyright©2012 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com